



働き方改革につながるオフィス環境の実現

August, 2020



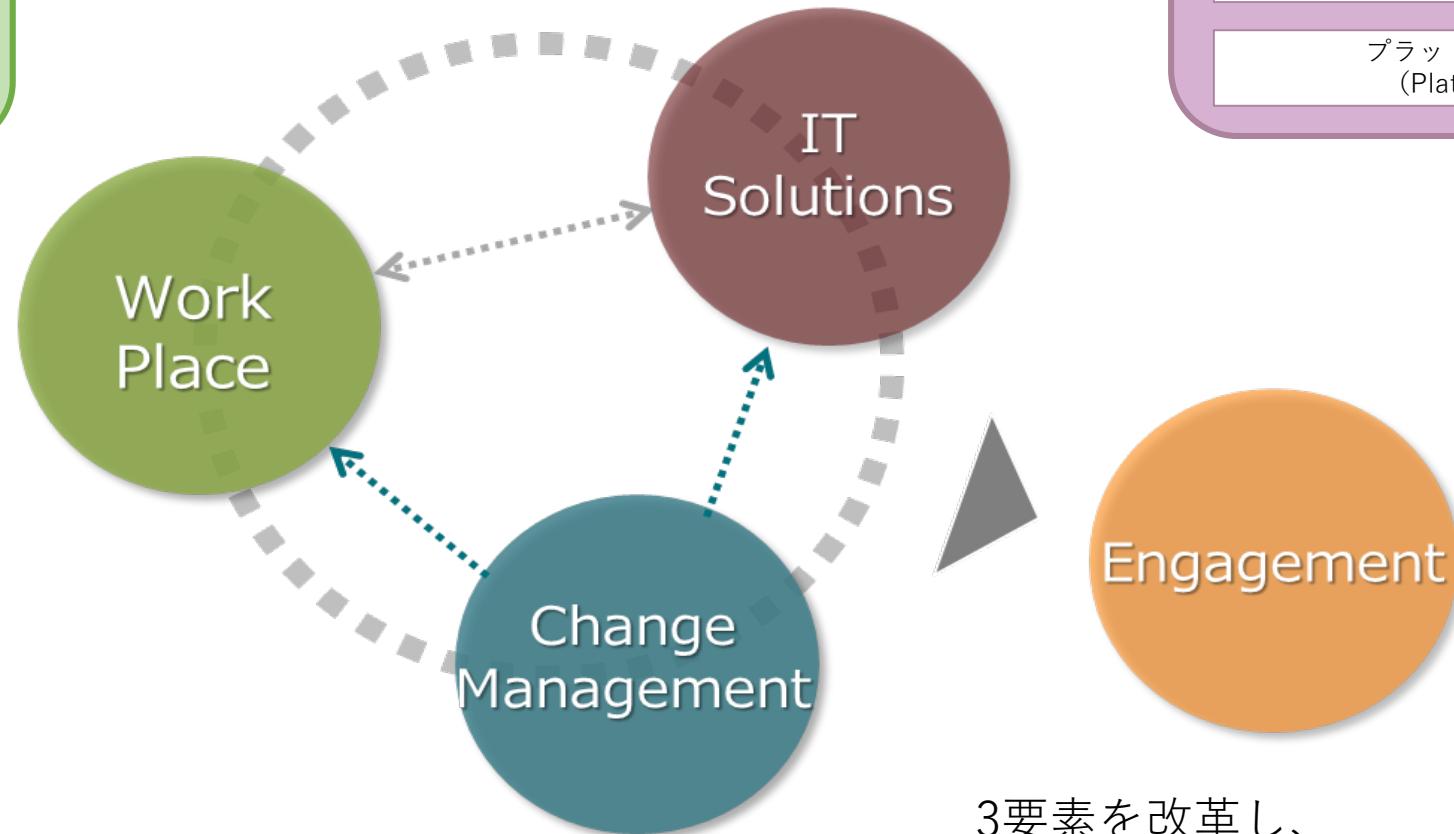
企業理念

人と環境にやさしい 空間創造

「空間創造」とは、人が生活し働くあらゆる空間の快適かつ機能的で効率的な環境作りを推し進めることです。私たちはこの理念に基づき、お客様の満足、地球環境などに配慮した製品とサービスの提供をつうじて、社会に貢献いたします。

働き方改革につながるオフィス環境の実現

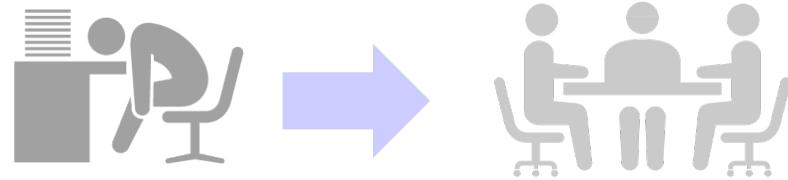
働き方改革の3要素



3要素を改革し、
社員のエンゲージメントを高め、
オフィスの生産性を最大限に高める
ことにつながります。

働き方改革につながるオフィス環境の実現

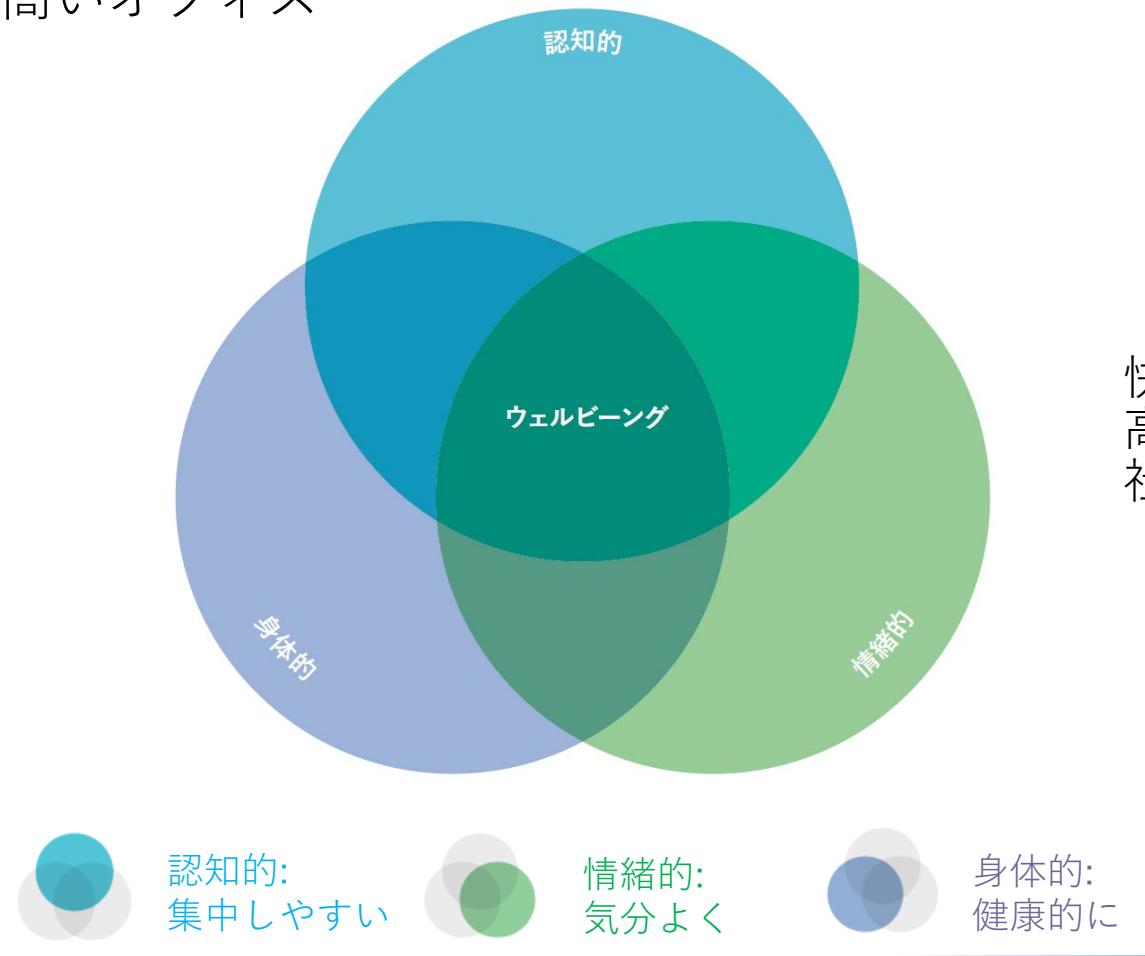
ワークプレイスの生産性を高めるために重要なこと



社員一人ひとりのエンゲージメント（労働意欲）をたかめる
エンゲージメントの高い社員を増やし、低い社員が減れば、
全体の生産性が大きく向上する。

イノベーションを起こすのはエンゲージメントが高い社員

エンゲージメントの高いオフィス



快適性(ウェルビーイング)
高いオフィスは
社員のエンゲージメントも高い

働き方改革につながるオフィス環境の実現

5work modeとはワーカーのオフィス内での行動を5つに分類し、行動にあわせたスペースを用意することで、ワーカーのエンゲージメント（労働意欲）を高めます。個々に働く「場」を選びコントロールする事で、生産性をUPさせます。



働き方改革につながるオフィス環境の実現

ABWを行うメリット。それは日常的に下記のロスが発生しています。心当たりがありますか。それを排除出来るのがABWです。



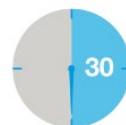
それぞれが異なるのに
ワーカーが全員同じデスクで、同じ装備の会議室で生産性は上がらない。

■日々の業務で使用ツールが異なります。
ノートパソコン・IPAD・スマホ・TV会議

■生み出すものも異なります。
・コミュニケーション
・コラボレーション
・創造性
・イノベーション

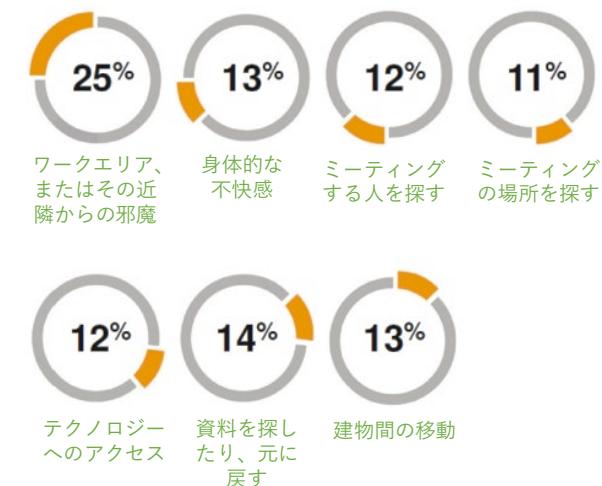
■ストレスの要因が異なります。

ワーカーの37%は身体的な不快さのために毎日最大30分は時間をロスしています。



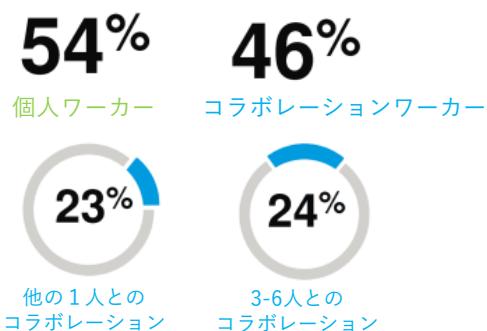
ロスタイムを費用換算すると企業の大きな損失が発生している。

■日常における様々なロスタイム
(7つのロスタイム)



仕事する人数、コラボする人数も異なるのに一辺通りのコラボレーションスペースでは生産性は上がらない。

■作業タイプも人によって違います。



■コラボレーションタイプも違います。



障害があるのを排除しなければ生産性は上がらない。

■仕事では3分毎に作業を切り替えている

➔集中できない

11分毎に邪魔が入る（上司、同僚からの話しかけ、電話等）集中が途切れる

■フローの状態に戻るまで25分かかる

➔集中が途切れて元の集中できるまで25分かかる



#ワーカーが望むモノ
#ワーカーが必要なモノ



集中して作業したいが、コミュニケーションもスムーズにとりたい。



Navi TeamIsland (ナビ)

高座位姿勢とエンドテーブルで円滑なコミュニケーションを促進するデスク

通常より高く座る高座位姿勢で立ち寄った相手との自然な姿勢での会話をサポートします。
 ストレージレッグで私物や貴重品などの収納に対応します。
 エンド部にテーブルを組み合わせることで自席近くでスムーズにコラボレーションできます。

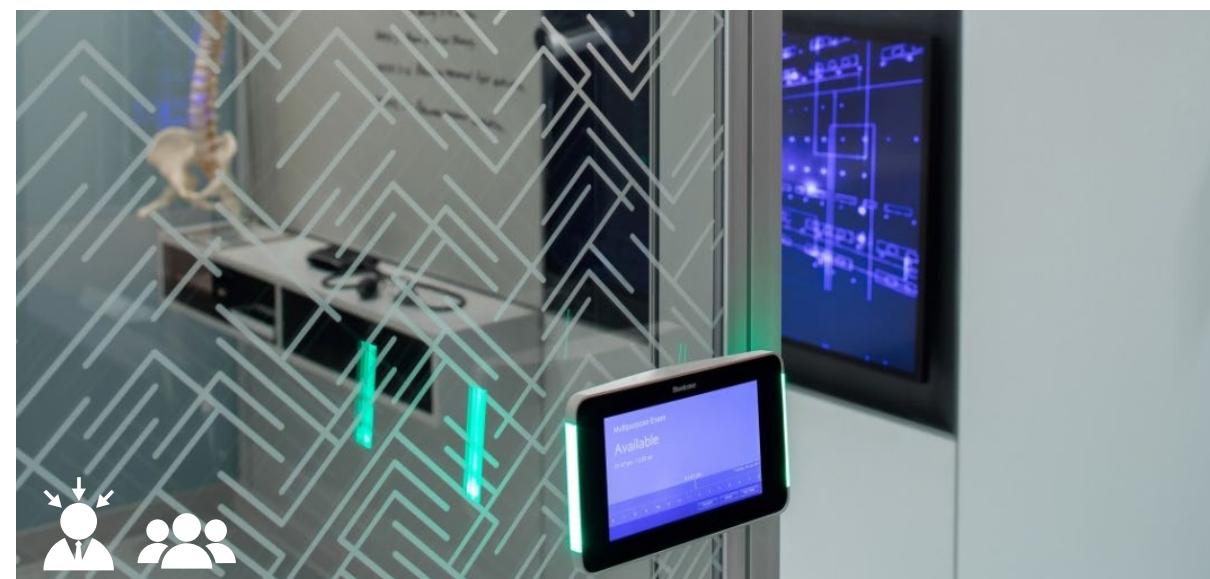


■作業面の高さを選べます
 レイアウト構成にあわせて、デスク高さをデスクハイト (724mm) とスタンドハイト (1000mm) から選べます



■ストレージレッグ
 ストレージレッグは私物や貴重品を収納できるキャビネットです。天面はカバンを置けるスペースになっています

室内の中の様子は見えても、デジタル画面の内容は見られたくない。



Casper

モニター画面を隠せる特殊フィルム開放感のある視界の中でプライバシーを守ります

部屋の内側にCasperを貼ることで、部屋の外にいる人は誰がミーティングしているか確認できるが、ミーティングの内容は見れない仕掛けになっています。



■部屋の外側にグラフィックシートを貼ることもできます



集まったり、1人で考えたり。
素早くミーティングやグループワークのセッティングをしたい。



Node (ノード)

高いモバイル性で、講義形式からチーム形式まで迅速で簡単にレイアウトの変更に対応します

NODEはコラボレーション、レイアウト移行、可動性などが要求される今日のワークプレイスにおいてもその威力を発揮します。「アクティブ・ラーニング」や「アクティブ・コラボレーション」に柔軟に対応します。

■様々な学習スタイルに対応



グループ会議



全体会議 (ディスカッション)



研修会・勉強会

■自由なスタイル

サイドテーブルは左右位置の調節可能で、学習に必要なツールや書類を置くのに十分な広さがあります



シートは柔軟性があり、また座面が回転するので楽に姿勢を変えられます

ベース部分に荷物を置くことができます

アームにはバッグを吊り下げることができます

メンバーがどこにいてもチーム全員で協働できるツールが欲しい。



Microsoft Surface Hub 2S

無限に広がるチームワーク

Surface Hub 2S はメンバーがどこにいてもチームワークを可能にします。一体型のデジタルホワイトボード、会議用プラットフォーム、共同作業を促進するデバイスが Windows 10 のパワーをチームワークに吹き込みます。



■スムーズな移動で、チームの仕事場が変わる

Surface Hub 2Sとモバイルスタンドを組み合わせれば軽い力で簡単に動かすことができ、会議室やオープンスペースなどのあらゆる場所がコラボレーションの場に早変わり。

■シームレスな連携で、チームの働き方が変わる

ビデオ会議もでき、メンバーがどこにいてもチーム全員が同じ場にいるかのように協働できます。





共有しながらコラボレーション。
チームで働く為の「場」となる様な家具はないか。



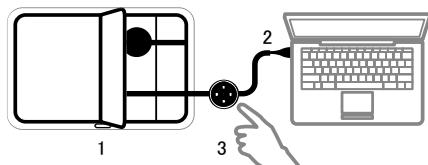
media;scape (メディアスケープ)

すばやく資料を共有しコラボレーションを助長する、人とスペースと情報をつなぐ家具

media;scape (メディア：スケープ) はテクノロジーと家具を統合し、人、スペース、情報をつなぎ、今までにないダイナミックなコラボレーションと高いパフォーマンスを実現します。

■画面の切り替えが容易

メディアユニットに内蔵されたPUCKをタップするだけでPCの画面をモニターに瞬時に表示し情報を共有できます。PUCKは複数内蔵されているので、事前にPCを接続し、必要に応じてPUCKをタップして画面を切り替えられます。



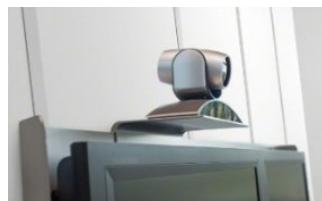
1. メディアユニットを開け、PUCKを取り出す
2. PUCKをノートPCに接続する (PUCKが点灯)
3. PUCKをタップし、パソコンの画面を共有する (PUCKがグリーンに点灯)

■TV会議システムとの連携

TV会議システムと連携させることで、PCの画面を遠隔側のモニターに表示できますので、同じ場所でも、遠隔でも、メンバー同士は情報を共有しつながることができます。遠隔地間でもチームメンバー間でのシームレスなアイデアの創出とその共有を可能にしました。



PUCK



会議室とまでは言わないが、こもって作業や打合せがしたい。



HANARE

オープンオフィスでちょっと集中したい・籠もりたい要望に応える「離れ」スペース

自席から離れて1人で集中したい。2人で情報共有したい。4人で活発なアイデアを出したい。オープンオフィスの中でこのようなワーカーのニーズに「HANARE」が応えます。



プライバシー確保が必要な打合せや集中作業



少人数で気軽にミーティング



必要な時にスピーディで短時間に行えるミーティング



プロジェクト単位でのプライベートスペース



チームのコミュニケーション増加スペース



遠隔地とのミーティング

1日中座ってることが多い。動作に合わせて自然に身体を動かしたい。



Bouy (ブイ)

「動く体験」。そのパーソナルな活用方法は無限です。

人間は座っているときも動いています。膝をゆらしたり、ペンをたたいたり、身体を伸ばしたり、どんな癖があってもBuoyは動きに適応します。

1人でも複数でも落ち着いた空間で交流がはかれたらな。



Lagnitus (ラグニタス)

仕事にも休憩にも対応できるラウンジシステム

従来のワークスタイルからカジュアルまで、Lagunitasは進化するワークスタイルと変化する作業姿勢にも柔軟に対応します。

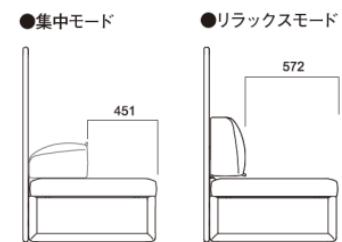
ボディ
 重さは約9kgという軽さであり、どこにでも持っていきます。



ハンドル
 レバー操作により14cmの高さ調節が可能です。



ベース
 カーブしたベースラインが自由な動きを可能にしています。

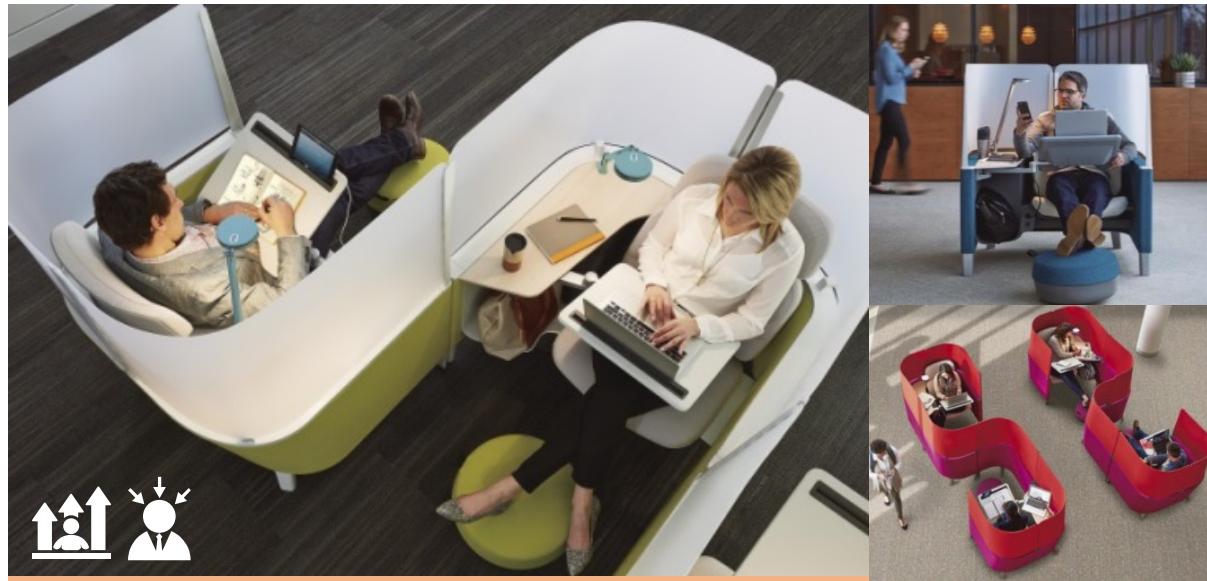


背クッションは倒すことで座奥行きを調節でき、休憩時（座奥深め）とワーク時（座奥浅め）を選べます。

リクライニングしながらのリラックスした作業、集中のための前傾姿勢など様々な姿勢やワークモードをサポートします。



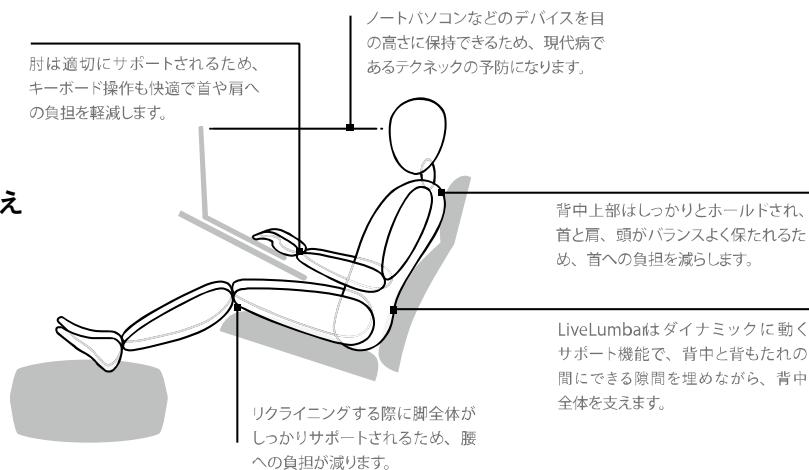
自席だとすぐに話し掛けられる。作業が全然はかどらない。



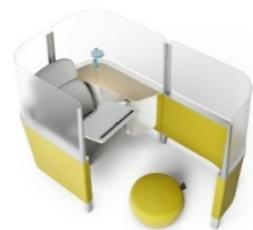
Brody Work Lounge (ブロディ)
人間の「脳」と「身体」を支えるBrody WorkLounge

平均ワーカーは11分毎に仕事を中断され、元の状態に戻るに23分を要します。視覚的なプライバシーと心理的なセキュリティの強化された感覚を持ち、快適に集中することができるチェアです。精神的にも身体的にも良好な状態を保つことができるよう、人間工学に基づいたデザインが施されています。

■Brody WorkLounge
は人間の「脳」と「身体」を支える
ために開発されました。



ライブ・ランバーテクノロジーによって、人間工学的視点からラウンジ姿勢をしっかりとサポートします。



リラックスと集中の間で、即興的なコラボレーションが生まれにくいかな。



B-FREE Lounge (ビーフリーラウンジ)
スペースの核として人が集う「場」を創り出し、個の集中も促します

B-Free (ビー・フリー) は組合せによって多彩なレイアウトをつくりだし、再構成も容易なモジュラー式家具です。



ワーカーは集中やリラクゼーションのための快適な場所を楽しむことができます。プライバシースクリーンは、周りで作業する人々を視界にいれつつ個人集中エリアを確保します。バックドロップは、個人の持ち物を収納でき、電源へのアクセスも可能。



持ち物を置く便利収納
身近に安全に持ち物を置ける一時的収納スペースはモバイルワーカーには不可欠です。



プライバシーの確保
半透明な間仕切りを使用することで、周りの様子が視界に入りながらもプライバシーを確保できます。



株式会社くろがね工作所
www.kurogane-kks.co.jp



お問い合わせは各営業所までお願いします。

- 東京 〒105-0014 東京都港区芝1-10-13 芝日景有楽ビル
TEL. 03-5439-9111 / FAX. 03-5439-9115
- 札幌 〒060-0001 札幌市中央区北一条西7丁目3 (北一条第一生命ビルディング)
TEL. 011-281-2373 / FAX. 011-281-2367
- 名古屋 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目20-27 (御幸ビル)
TEL. 052-253-6985 / FAX. 052-253-6986
- 大阪 〒550-0013 大阪市西区新町1丁目4-24 (大阪四ツ橋新町ビル)
TEL. 06-6538-1012 / FAX. 06-6538-7434
- 高松 〒760-0007 香川県高松市中央町1-5 (MBSビル)
TEL. 087-835-6311 / FAX. 087-835-6312
- 広島 〒733-0001 広島市西区大芝3-13-5 (イトービル3)
TEL. 082-962-1462 / FAX. 082-962-4662
- 山口 〒753-0074 山口市中央5-15-20 (オデオンK)
TEL. 083-928-6115 / FAX. 083-928-6108
- 福岡 〒810-0012 福岡市中央区白金1丁目2-21 (Wビルディング渡辺通)
TEL. 092-523-1440 / FAX. 092-523-1442